

平成22年度当初予算 重点的な取組別概要  
 <みえの舞台づくりプログラム>

元気1：「文化と知的探求の拠点」連携・創造プログラム（主担当部：生活・文化部）

<プログラムの目標>

「三重の文化振興方針」に基づき、県立図書館や博物館、文化会館、生涯学習センター等が、県の「文化と知的探求の拠点」としての機能を充実し、連携を強化するとともに、市町等の持つ「身近な拠点」や学校、地域、高等教育機関との連携により、県民が個性を磨き知的探求心を満たせるような取組を進めています。

<構成事業（担当部）>

- (1) 新県立博物館整備事業（生活・文化部）
- (2) 知識・情報発信図書館整備事業（生活・文化部）
- (3) 歴史的・文化的資産データ集積事業（生活・文化部）
- (4) 次世代の文化体験活動推進事業（生活・文化部）
- (5) 高等教育機関との連携強化事業（政策部）

<プログラムの事業費>

（単位：千円）

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
策定時の見込額 ※1	17,910	23,000	21,000	21,000
予算額等 ※2	12,233	12,275	277,227	2,720,199

※1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

※2 H19,20年度は決算額、H21年度は予算現額、H22年度は当初予算額

<構成事業の目標>21年度実績値は1月末現在で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1) 新県立博物館検討への 県民・利用者の参画人数	目標値	—	—	—	150人	200人
	実績値	—	—	99人	261人	
(2) 県立図書館のレファレンスサービス利用件数	目標値	—	4,500件	6,700件	6,850件	7,000件
	実績値	3,885件	6,620件	6,107件	6,500件	
(3) 歴史的・文化的資産データ集積数	目標値	—	—	—	9,000点	10,500点
	実績値	—	—	7,500点	9,000点	
(4) さまざまな主体が連携して取り組む文化芸術などを体験するプログラムの実施数	目標値	—	プログラムの作成	4件	6件	6件
	実績値	—	プログラムの作成	8件	19件	

(5) 大学等高等教育機関の多様な知的資源を活用する講座やセミナーなどに参加する県民の数	目標値	—	300人	400人	400人	400人
	実績値	—	280人	530人	430人	

### <進捗状況（現状と課題）>

- ・ 県立図書館のビジネス支援セミナーをはじめ、県の各拠点が県民のニーズに対応した講座や展覧会等を開催しています。また、複数の拠点が同一テーマ（平成20年度は「源氏物語」、平成21年度は「斎王」）を掲げてモデル的な連携事業を実施しています。
- ・ 新県立博物館の整備については、建築及び展示に関する概略設計について、県民の皆さんに説明し、いただいたご意見を詳細設計に反映するよう検討を進めてきました。平成21年度に行っているワークショップやこども会議など、より魅力的な博物館活動や運営のための検討、基盤づくりのための取組を引き続き進めていく必要があります。
- ・ 三重大学と連携して地域の歴史的・文化的資産の収集を進めるとともに、そのための人材育成や市町とのネットワークづくりに取り組んでいます。
- ・ 次代を担う子どもたちを対象とした本物の文化に親しむことができるアウトリーチ事業（文化体験プログラム）や人材の発掘・育成のための講座の開催を、生涯学習センターのコーディネートの下、県の各拠点や文化団体が連携して行っています。
- ・ 高等教育機関が主体的に図書館、文化施設、行政等と連携して開催するセミナー等の支援や、高等教育機関相互の意見交換等を実施しています。

### <平成22年度の取組方向>

- ① 新県立博物館については、建築工事の着手など、必要な施設整備を進めるとともに、引き続き「ともに考え、活動し、成長する博物館」の実現をめざして、地域の博物館や大学、学校と連携した具体的な取組、県民の皆さんの参画によるプログラムづくりやしくみづくりを進めます。
- ② 県立図書館のさまざまな機能を生かした情報収集支援、学習支援についての情報発信を強化するとともに、関係機関と連携して「知識と情報」を集積し、提供することにより、県民の課題解決に必要な情報収集の場としての機能を高めます。  
また、地域の歴史的・文化的資産のデータ収集については、地域や大学等と連携して進めるとともに、各拠点が、これらの資産を保存・活用できるようしくみづくりと人材の育成に取り組めます。
- ③ 文化体験プログラムについては、「みんなで創ろう『みえの舞台』会議」における提案等を踏まえ、生涯学習センターを核としたしくみづくりを進め、多様な主体の参画を得ながら実施メニュー・情報発信機能の充実や人材発掘・育成に取り組めます。  
また、高等教育機関との連携強化については、同機関の持つ知的資源の情報発信や、図書館、文化施設、行政等と連携して開催するセミナー等の支援、及び高等教育機関相互の意見交換等に取り組めます。

### <他の主体の参画内容>

- ・ 県民・利用者の皆さんをはじめ、企業や地域の団体、県内博物館等は、新博物館が、誰にとっても利用しやすく、知的好奇心を育む場となるように、「みんなでつくる博物館会議」や「こども会議」をはじめ、さまざまな検討の場に参画するとともに、新博物館に向けての試行的取組への参画、アンケートやモニタリング調査への協力などの博物館づくりに参加・参画します。

- ・ 地域の活性化やビジネス支援等の専門的な情報やノウハウを持つ各関係機関は、県立図書館と共催で地域や県民の課題解決に役立つ講座を実施します。
- ・ 県民・利用者の皆さん、とりわけ高校生や大学生は、図書館ボランティアとして参画し、子どもや学生など若い世代に図書館が身近な施設となり、利用しやすい場となるよう、若者の感性を生かした情報発信等に取り組みます。
- ・ 三重大学附属図書館は、共同で歴史的・文化的資産のデータ収集に取り組みます。また、市町等は、連携ネットワークの構築や保存・活用のあり方検討などのしくみづくりに参画します。
- ・ 地域の文化団体は、小学校等と連携して、文化体験プログラムの企画や実施に参画します。
- ・ 高等教育機関は、主体的に地域のさまざまな主体と連携し、地域活動への参画や地域課題の解決に向けた取組を進めます。

## <主な事業>

### ① (一部新) 新県立博物館整備事業

【基本事業名：13101 文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長】(事業(1))

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 3文化振興費)

予算額：(21) 302,029千円 → (22) 2,706,247千円

事業概要：新県立博物館の開館に向けて、建築工事の着手など、必要な施設整備を進めるほか、県民・利用者の皆さんとともに、公文書館機能の整備を含め、調査研究、収集保存、活用発信の博物館活動や運営のしくみ等のための取組を進めます。

### ② 知識・情報発信図書館整備事業【基本事業名：12101 生涯学習環境の整備】(事業(2))

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 8総合文化センター費)

予算額：(21) 4,988千円 → (22) 4,781千円

事業概要：県民の自己実現を支援するため、レファレンスサービスの充実に努めるほか、大学等の高等教育機関、企業、NPO等との連携による図書館活用講座を開催するとともに、さまざまな知識と情報の発信、交流を進め、「文化と知的探求の拠点」としての機能を高めます。(図書館活用講座7回開催予定)

### ③ 歴史的・文化的資産データ集積事業

【基本事業名：13104 文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流と発信】(事業(3))

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 3文化振興費)

予算額：(21) 1,581千円 → (22) 1,344千円

事業概要：歴史的・文化的資産のデータ収集を関連機関と連携して進めるとともに、その収集・活用のための人材育成や市町との連携ネットワークの構築、保存・活用のあり方検討などのしくみづくりに取り組みます。(三重大学附属図書館との連携によるデータ収集1,500点を予定、県立博物館との共催による研修講座を5回開催予定)

### ④ 次世代の文化体験活動推進事業

【基本事業名：13104 文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流と発信】(事業(4))

(第2款 総務費 第5項 生活文化費 3文化振興費)

予算額：(21) 2,987千円 → (22) 6,278千円

事業概要：「次世代の文化体験推進委員会(仮称)」を開催し、継続的に広げるための新たなしくみについて検討します。また、6種類の体験プログラム等を実践するとともに、

人材育成・発掘や文化体験の取組等を情報発信・把握するためのフォーラムや研修会等を開催します。(文化体験プログラム24箇所実施予定)

⑤ 高等教育機関との連携強化事業

【基本事業名：51302 知的財産に取り組む環境づくり】(事業(5))

(第2款 総務費 第2項 企画費 1 企画調整費)

予算額：(21) 1,642千円 → (22) 1,549千円

事業概要： 県民の皆さんの地域活動への参加や地域の課題解決につながる取組を支援する多様なセミナー等を高等教育機関と連携して開催するとともに、高等教育機関相互の連携や情報発信を強化します。(3箇所実施予定)